



[ワークフローの新規作成] ウィンドウ OnCommand Workflow Automation

NetApp
October 09, 2025

目次

[ワークフローの新規作成] ウィンドウ	1
新しいワークフロー	1
コマンドボタン	2
コマンドダイアログボックスのパラメータ	3
<辞書オブジェクト> タブ	3
その他のパラメータ	4
詳細設定	4
[リソースを選択 (Resource Selection)] ダイアログボックス	5
<dictionary object> By タブを選択します	5
[詳細設定] タブ	6
増分命名ウィザード	6
[行の繰り返しの詳細] ダイアログボックス	7
繰り返し	7

[ワークフローの新規作成] ウィンドウ

[新しいワークフロー *] ウィンドウには、新しく作成されたワークフローとその関連コマンドが表示されます。

新しいワークフロー

[新しいワークフロー *] ウィンドウには、ウィンドウのヘッダーにワークフローの名前が表示されます。関連するコマンドは、列に青のボックスとして表示されます。列は実行の順番に従って表示されます。左から右、上から下に読み取られます。各コマンドの変数とオブジェクトは、コマンドの列にグレーのボックスで表示されます。

- * 行を挿入 *

ワークフローで選択した行の上または下に新しい行を追加します。

をクリックできます  をクリックして、最後に使用可能な行の下に行を追加します。

- * 行をコピー *

選択した行をワークフローからコピーしてクリップボードに保存します。行をコピーしても、その行に設定された繰り返しの詳細はコピーされません。

- * 行を貼り付け *

クリップボードに保存された最後のアイテムを ' 選択した行の下 新しい行に配置します変数には一意の名前が使用されますが、式の変数は変更されません。

- * 行の繰り返し *

[* 行繰り返しの詳細 * (* Row Repetition Details *)] ダイアログボックスを開きます。

- * 行の繰り返子を編集 *

[繰り返しの詳細 * (Row Repetition Details *)] ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、選択した行の * 繰り返し行 * (Repeat Row *) アクションセットを修正できます。

- * 行の繰り返子を削除 *

選択した行の * 行繰り返しの詳細 * (* Row Repetition Details *) ダイアログボックスで設定されている * 行繰り返し * (Repeat Row *) アクションをキャンセルします。

- * 条件の追加 *

行 < 行番号 > の条件 (Conditions for row < 行番号 >) ダイアログボックスが開き、条件を選択できます。選択した条件は、行のすべてのコマンドに適用されます。選択した条件が満たされた場合にのみ、行のすべてのコマンドが実行されます。

- * 行を削除 *

選択した行をワークフローから削除します。

- * 新しい承認ポイント *

をクリックできます  [新しい承認ポイント * (New Approval Point *)] ダイアログボックスを開く。このダイアログボックスでは、コマンドの実行前に承認ポイントを追加できます。

- * 承認ポイントの編集 *

をクリックできます  承認ポイントコメントを編集できる [承認ポイントの編集 *] ダイアログボックスを開くには、次の手順を実行します。

- * コマンドパラメータの追加 *

選択した行にコマンドのパラメータを追加します。

選択したコマンドの下、目的の行にカーソルを置き、をクリックします  をクリックすると、 [< コマンド名 > のパラメータ] ダイアログボックスが開きます。

- * コマンドパラメータの編集 *

Command の Parameters for < command_name > ダイアログボックスを開き、コマンドの選択したパラメータを変更できます。

編集するグレーのボックスにカーソルを合わせ、をクリックして [< コマンド名 > のパラメータ] ダイアログボックスを開きます。

- * コマンドパラメータの削除 *

パラメータを削除します。

削除するグレーのボックスの上にカーソルを移動し、グレーのボックスの右上隅にある「X」をクリックします。

コマンドボタン

コマンドボタンは、ワークフローウィンドウの下部にあります。コマンドには、ウィンドウの右クリックメニューからもアクセスできます。

- * プレビュー *

[ワークフローのプレビュー *] ダイアログボックスが開き、ユーザー入力属性を指定できます。

- * 名前を付けて保存 *

ワークフローを新しい名前で保存できます。

- * 保存 *

ワークフローを保存します。

- * 閉じる *

ウィンドウを閉じます。このプロセスでは、構成に変更が加えられた場合、変更の保存、変更を保存せず

にウィンドウを閉じる、または終了アクションをキャンセルするように求める * 変更の保存確認 * ダイアログボックスが開きます。

コマンドダイアログボックスのパラメータ

[コマンドのパラメータ (Parameters for commands)] ダイアログボックスを使用して、コマンドの実行用のパラメータおよびその他の設定を指定できます。

ダイアログボックスには、1つ以上のディクショナリオブジェクトタブと次のタブが表示されます。

- その他のパラメータ
- 詳細設定

< 辞書オブジェクト > タブ

- * <dictionary object>* を定義します

属性の指定、以前に定義したオブジェクトの使用、または既存のオブジェクトの検索によって、ディクショナリオブジェクトにマッピングされるコマンドパラメータを指定できます。

- * 属性の入力 *

この変数の属性を入力できます。でマークされたフィールドには、[リソースを選択 (Resource Selection)] ダイアログボックスを使用できます 。必要に応じて、オブジェクトの特定の属性の定義済みの値を含むテンプレートを使用できます。追加の属性を表示および使用するには、[<dictionary object>* で使用される属性のみを表示 (Show only attributes used by <dictionary object>*)] チェックボックスをオフにします。[Define <dictionary object>] の横のボックスには、選択した変数のデフォルト名が表示されます。変数の名前を編集できます。必須属性には、ボックスのアスタリスク (*) と赤の枠線が付いています。

- * 以前に定義した <dictionary object>* を使用します

以前に定義した変数を選択できます。[Define <dictionary object>] の横のボックスで、以前に定義したディクショナリオブジェクトを選択できます。

- * 既存の < 辞書オブジェクト >* を検索します

既存のディクショナリオブジェクトを検索して変数を定義できます。ディクショナリオブジェクトの検索条件を指定できます。ディクショナリオブジェクトが見つかった場合は、次のいずれかのアクションを指定できます。

- ワークフローを中止する
- コマンドを無効にします
- <dictionary object> の属性を入力し、コマンドを実行します



このオプションは、[属性を入力して * (By filling-in attributes *)] オプションに似ています。

その他のパラメータ

コマンドの実行用にディクショナリオブジェクトにマッピングされていないコマンドパラメータを指定できません。

詳細設定

コマンドの実行条件を指定し、概要を提供できます。ワークフロー内の1つ以上のコマンドが失敗した場合でもワークフローを継続するように、ワークフローを設定することもできます。

- * このコマンドを実行します *

- * 常に *

無条件にコマンドを実行します。

- * 次の変数が見つかった場合 *

指定した変数が見つかった場合にのみコマンドを実行できます。隣接するボックスで変数を指定できます。

- * 次の変数が見つからなかった場合 *

指定した変数が見つからない場合にのみコマンドを実行できます。隣接するボックスで変数を指定できます。

- * 次の式が TRUE * の場合

指定した MVFLEX 式言語 (MVEL) 式が「true」の場合にのみ、コマンドを実行できます。隣接するボックスに式を指定できます。

- * 概要 *

コマンドの概要を入力できます。

- * 実行に失敗した場合 *

- * ワークフローの実行を中止 *

ワークフローの実行を終了できます。

- * 次の手順 * から実行を続行します

次の手順からワークフローの実行を続行できます。

- * 次の行からの実行を続行 *

次の行からワークフローの実行を続行できます。

[リソースを選択 (Resource Selection)] ダイアログボックス

[リソースを選択 (Resource Selection)] ダイアログボックスでは、リソースを検索してコマンドにマッピングできます。

- <dictionary object> By タブを選択します
- [詳細設定] タブ

<dictionary object> By タブを選択します

このタブでは、検索条件としてファインダまたはフィルタを指定し、選択した検索条件の属性を入力できます。選択したフィルタを Finder として保存することもできます。

- * フィルタルールを定義 *

vFiler ユニット、アグリゲート、仮想マシンなど、ディクショナリエントリリソース用のルールセットを定義できます。

フィルタルールには、1 つ以上のルールグループを含めることができます。

ルールは、ディクショナリエントリ属性、演算子、および値で構成されます。属性には、その参照の属性も含めることができます。たとえば、次のようにアグリゲートのルールを指定できます。List all aggregates with name starting with the string "aggr>" and have an available size greater than 5GB .グループの最初のルールは属性 "name" で、演算子 "starts-name", および値 "aggr") です。同じグループの 2 番目の規則は ' 属性 "available_size_MB"' で ' 演算子は ">" で ' 値は "5000" です

Finder を選択した場合は、「* フィルタルールを定義する *」オプションが無効になります。

指定した値をクリアするには、* リセット * ボタンをクリックします。

- * 自然キーで 1 つのリソースを選択 *

リソースの自然キーに基づいてリソースを選択できます。

- * Finder *

リストから Finder を選択できます。* なし * がデフォルトで選択されています。

フィルタは Finder リストの下に表示されます。Finder を選択した場合は、フィルタを選択できません。

- * パラメータ *

選択したファインダまたはフィルタの値を入力できます。検索条件を満たすために必要なすべての値を入力する必要があります。

- * コマンドボタン *

- * Finder として保存 *

選択したフィルタを Finder として保存します。

◦ * テスト *

パラメーター（Parameters）領域で値を指定する前に、選択したフィルタのパラメーターをテストできます。

◦ * OK *

設定を保存してダイアログボックスを閉じます。

◦ * キャンセル *

変更がある場合はキャンセルしてダイアログボックスを閉じます。

[詳細設定] タブ

このタブでは、検索を実行するタイミングを指定したり、リソース属性とリソース属性のステータスをソートしたりできます。

• * この検索は常に実行してください *

コマンドの実行時に制限なしで検索を実行します。

• * 次の式が TRUE * と評価された場合のみ、検索を実行します

ボックスで指定されたオプション属性の値が「真」の場合にのみ、検索を実行します。オプションの属性を指定するには、MVEL（MVEL）構文を使用します。

• * ソートテーブル *

*Select < 辞書オブジェクト > By * タブで選択したフィルタの属性と並べ替え順序を表示します。ソート順序は、リソースの選択にとって重要です。たとえば、アグリゲートのソート順序として descending を選択した場合、最大「available_space」のアグリゲートがリソースとして選択されます。属性のソート順序を変更するには、属性のステータス列をクリックし、リストから必要なソート順序を選択します。

• * コマンドボタン *

◦ * 上 *

選択したエントリをソートテーブルの 1 行上に移動します。

◦ * 下 *

選択したエントリをソートテーブルの 1 行下に移動します。

増分命名ウィザード

増分ネーミングウィザードを使用すると、既存のパラメーターの検索に基づいて属性の値を定義できます。

• * 既存の < 辞書オブジェクト > * の検索条件

[リソースを選択 * (* Resource Selection *)] ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、ディクショナリオブジェクトの検索条件を指定できます。

- * 上記の検索条件に一致する <dictionary object> がない場合は、<attribute> の値を入力します。 *

指定した検索条件を使用して <dictionary object> が見つからない場合に、<attribute> の値を指定できません。

- * 上記の検索条件を使用して <辞書オブジェクト> が見つかった場合は、<属性> の値を * で設定します

指定した検索条件を使用して <dictionary object> が見つからない場合に、<attribute> の値を指定できません。

- * 上記の検索条件に一致する <dictionary object> がない場合は、<attribute> の値を入力します。 *

指定した検索条件を使用して <dictionary object> が見つかった場合に、<attribute> の値を設定するメソッドを選択できます。

- * 増分値とサフィックス * を指定します

増分の数値を入力できます。必要に応じて、属性名のサフィックスを入力することもできます。

- * カスタム式 * を提供します

属性の値のカスタム式を入力できます。MVEL (MVEL) 構文を使用して、値を指定できます。

[行の繰り返しの詳細] ダイアログボックス

行繰り返しの詳細 (Row Repetition Details) ダイアログボックスでは、行のパラメーターを繰り返す方法を指定できます。

繰り返し

必要な繰り返しオプションのタイプを選択できます。デフォルトでは、回数 * オプションが選択されています。

- * 回数 *

次の項目を指定できます。

- 特定の行を実行する回数
- インデックス変数 (Index Variable)
- 変数 (variables)
- * 回数 *

特定の行を実行する回数を指定できます。

- * インデックス変数 *

行の繰り返しに使用するインデックス変数の名前を指定できます。

◦ * 変数 *

行の繰り返し中に使用する必要がある追加の変数を含めることができます。

▪ * 追加 *

変数テーブルに新しい行を追加します。

▪ * 削除 *

選択した行を変数テーブルから削除します。

• * グループ内のすべてのリソース *

次の項目を指定できます。

- リソースタイプ (Resource Type)
- リソース検索条件
- リソース変数 (Resource Variable)
- インデックス変数 (Index Variable)
- グループサイズ変数
- 変数 (variables)
- * リソースタイプ *

リソースタイプを選択できます。

◦ * リソース検索条件 *

[リソースを選択 (Resource Selection)] ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、選択したリソースタイプのリソースを検索するための条件を指定できます。指定した条件に基づいて、検索された各リソースに対してループが実行されます。

◦ * リソース変数 *

リソース変数の名前を入力できます。

◦ * インデックス変数 *

行の繰り返しのインデックスを指定できます。

◦ * グループサイズ変数 *

グループサイズ変数の名前を入力できます。

◦ * 変数 *

行の繰り返し中に使用する必要がある追加の変数を含めることができます。

• * コマンドボタン *

◦ * OK *

設定を保存してダイアログボックスを閉じます。

◦ * キャンセル *

変更がある場合は保存されず、ダイアログボックスが閉じます。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。